

加賀市の健全化判断比率等について

1. 年度別健全化判断比率の状況

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度
実質赤字比率		— %	— %	— %
	(参考) 黒字比率	9.58 %	8.04 %	4.76 %
連結実質赤字比率		— %	— %	— %
	(参考) 黒字比率	21.87 %	23.75 %	23.55 %
実質公債費比率		13.4 %	11.8 %	10.6 %
将来負担比率		100.0 %	90.1 %	80.0 %

早期健全化基準	財政再生基準
12.60 %	20.00 %
17.60 %	30.00 %
25.0 %	35.0 %
350.0 %	

2. 年度別資金不足比率の状況

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度
資金不足比率	下水道事業特別会計	— %	— %	— %
	(参考) 剰余比率	0.01 %	0.00 %	0.00 %
	土地区画整理事業特別会計	— %	— %	— %
	(参考) 剰余比率	0.00 %	0.00 %	0.00 %
	病院事業会計	— %	— %	— %
	(参考) 剰余比率	23.37 %	27.69 %	32.05 %
	水道事業会計	— %	— %	— %
	(参考) 剰余比率	32.00 %	33.90 %	40.27 %

経営健全化基準
20.0 %
20.0 %
20.0 %
20.0 %

(注1) 「—%」は、実質赤字額、連結実質赤字額又は資金不足額がないことを表します。

(注2) 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準については自治体ごとの財政規模に応じて変動します。

(市町村における早期健全化基準は、実質赤字比率においては11.25%~15%、連結実質赤字比率においては16.25%~20%となります。)

平成24年度決算に基づく標準財政規模から算定される加賀市の早期健全化基準は、実質赤字比率においては12.60%、連結実質赤字比率においては17.60%になります。

◎平成24年度決算に基づく加賀市の健全化判断比率及び資金不足比率はいずれも早期健全化基準、財政再生基準又は経営健全化基準を下回り、「健全ゾーン」に位置しています。